

ぱす ニュース

発行日
2024/7/5

発行元
クリニカルパス委員会

～クリニカルパス大会開催報告～

2024年6月10日(月)外来棟5階講堂で、2024年度第1回クリニカルパス大会が開催されました。

今回は、4階東病棟からEGFR遺伝子変異陽性肺がんの化学療法パス「EGFR-TKI」について発表がありました。発表者は、呼吸器科の亀田先生・4階東病棟の作田看護師です。お二人にはお忙しい中で資料をまとめ、この大会に向けて尽力を頂き有難う御座いました。



最初に、亀田先生から「肺がんにおける分子標的治療薬 EGFR-TKI」についてお話いただきました。まず肺癌の種類と治療法について説明があり、診断においては遺伝子検査による個別化医療が行われており、分子標的治療薬EGFR-TKIにより治療成績が改善されたことが説明されました。また副作用症状をあげられ皮膚障害や下痢のセルフケアを適切に行うことが必要のため、チームで協力し患者指導を途切れなく行うことが副作用の予防・重症化を防ぐために重要とお話いただきました。

続いて作田看護師より「EGFR-TKIクリニカルパスについて」と題して発表がありました。はじめにパスの退院基準とアウトカムについての説明があり、観察・評価・指導不足がみられたことから、パスに「内服管理の評価と指導」「副作用の観察・セルフケアの指導」「精神的ケア」を加え、退院基準・アウトカムを変更した事について説明されました。「副作用の観察・セルフケアの指導」については皮膚障害・口内炎のケアをケアスケジュールに追加、排便コントロールは排便スケールをイラストで説明し止瀉剤の使用法を指導、またチェックシート作成により患者それぞれの課題を抽出、進行状況を把握し継続的に介入できるようになったことなどを話されました。退院後はサマリーで引継ぎし統一した指導を行っており、今後は修正したパスと抗がん剤チェックシートを使用し新たに生じる課題を解消して完成度を上げていくとのことでした。



クリニカルパス委員会では、毎月バリエーション集計を行っており、どのようなバリエーションが発生しているかを分析し、必要時にパスの修正を行います。今後もパス新規作成・見直しの推進により、さらなる医療の質向上を目指していきたいと思っております。



クリニカルパスとは？

スケジュール表(パス表)を利用して医療の介入内容を最適化したもので、評価・改善を行うことで医療の質を向上させるマネジメントシステムです。

簡単に言えば、投薬・検査・処置・リハビリ・食事等の行為を効率よく組み合わせた予定表であります。

言葉の説明

- ①アウトカムとは？=目標患者のアウトカム
例)食事が摂取できる、傷が治癒する。
例)炎症値(CRP)が陰性になる。
例)歩行器で病棟歩行が自立できる。
- ②バリエーションとは？
=目標が達成できない状態のこと(クリニカルパスの予定とずれた結果のこと)
患者バリエーション
例)食事が開始できない
例)歩行器歩行が開始できない
例)点滴が終了できず数日間延長となった
例)食事が1日早く開始された。
例)予定より2日早く退院した

参加人数：41名

～編集後記～

今回は参加人数41名と多くの方に参加いただきました。パス大会はたくさんの方に様々なパスを知って頂く機会と思っています。次回も多くの参加を望んでおります。

パス委員会 広報